

○ 総務省告示第 号

電波法施行規則（昭和二十五年電波監理委員会規則第十四号）第三十四条の八及び第三十四条の九の規定に基づき、外国において電波法第四十条第一項第五号に掲げる資格に相当する資格、当該資格を有する者が行うことのできる無線設備の操作の範囲及び当該資格によりアマチュア局の無線設備の操作を行おうとする場合の条件を定める件（平成五年郵政省告示第二百二十六号）の一部を次のように改正する。

令和 年 月 日

総務大臣 高市 早苗

次の表により、改正前欄に掲げる規定の下線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の下線で付した部分のように改める。

改 正 後			
別表第一号			
国名	外国の相当する資格	日本のアマチュア局に係る無線従事者の資格	外国の相当する資格で操作できる範囲
1 アメリカ合衆国	Amateur extra	第一級アマチュア無線技士	第一級アマチュア無線技士の操作の範囲に属する操作
	Advanced	第二級アマチュア無線技士	第二級アマチュア無線技士の操作の範囲に属する操作
	General		
	Conditional		
	Technician (注)	第四級アマチュア無線技士	第四級アマチュア無線技士の操作の範囲に属する操作
	Novice	第三級アマチュア無線技士	第三級アマチュア無線技士の操作の範囲に属する操作（3,500kHz から <u>3,580kHz</u> まで、3,791kHz から 3,805kHz まで、7,000kHz から 7,100kHz まで及び 21,000kHz から 21,450kHz までの周波数における A1A 電波の発射に係るもの並びに 28MHz から 29.7MHz まで及び 1,260MHz から 1,300MHz までの周波数の電波の発射に係るものに限る。）
[2 ～ 12 略]			
[注 略]			

改 正 前			
別表第一号			
国名	外国の相当する資格	日本のアマチュア局に係る無線従事者の資格	外国の相当する資格で操作できる範囲
1 アメリカ合衆国	Amateur extra	第一級アマチュア無線技士	第一級アマチュア無線技士の操作の範囲に属する操作
	Advanced	第二級アマチュア無線技士	第二級アマチュア無線技士の操作の範囲に属する操作
	General		
	Conditional		
	Technician (注)	第四級アマチュア無線技士	第四級アマチュア無線技士の操作の範囲に属する操作
	Novice	第三級アマチュア無線技士	第三級アマチュア無線技士の操作の範囲に属する操作（3,500kHz から <u>3,575kHz</u> まで、3,791kHz から 3,805kHz まで、7,000kHz から 7,100kHz まで及び 21,000kHz から 21,450kHz までの周波数における A1A 電波の発射に係るもの並びに 28MHz から 29.7MHz まで及び 1,260MHz から 1,300MHz までの周波数の電波の発射に係るものに限る。）
[2 ～ 12 同左]			
[注 同左]			

備考 表中の「 」の記載は任意である。